

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Aug.2011

8

No.610

Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

Japan

特集

子どもたちの 3.11

夏を遊ぼう

町体験交流協会が主催する学びいな祭りは
7月24、25の両日、学びいなで開催されました。
表紙は、ウォークラリーで手作りのブーメラン
飛ばしに挑戦する子どもたち

特集

子どもたちの 3.11

未曾有の大災害と言われる東日本大震災
あの震災を子どもたちはどう感じたのだろうか。
そして、あの震災から何を学んだのだろうか。
「青少年の主張猪苗代大会」の発表から見えた
子どもたちの心の動きや行動から、
復興に向けたヒントを探る

Chapter
1

その時、子どもたちは

How did children face up to the earthquake?

3月11日 午後2時46分
東日本大震災発生

あの日、私は学校の体育館で卒業式の準備をしていました。終わりに近づき教室に戻ろうとした時、カタカタと何か音がしました。私はだれかのいたずらかと思っていると突然大きなゆれがおそったのです。それはとても長いものでした。避難した後もとてもこわくてこわくて、頭の中が真っ白になりました。

(吾妻小 遠藤真桜さん)

いつも通り、帰りの会を終えて、いつも通り家に帰るはずでした。(中略)いきなりグラグラと揺れたとき、ぼくは、学校の玄関にいました。ふだんとちがう長い揺れに、立っていることもできませんでした。友達と校庭に急いで逃げた後も、みんなひとかたまりになって、誰も何も言えないでいるほどでした。

(猪苗代小 笠間大夢さん)

— 人おくれ、教室で帰りの準備をしていた時、とつ然めまいがしたかと思う程の大きなゆれにおそわれた。私は机の下にかくれたが、気持ちが悪くなる程長く続いた。教室の

Voice あの時、私たちは

友だちを勇気づけた災害時のユーモア

大平 陸人さん(当時翁島小6年)

あの時は小学校の玄関近くにいたので、校庭に避難しました。泣いている下級生たちを何とかなぐさめようと思い、ティッシュを渡しながらかたまりを言いました。「みんなが少しでも和んでくれたら」そんな気持ちでした。



緑小学校での避難の様子を語る

金子 瞳 教諭(27)

緑小学校では、3年生以上が授業中でした。生徒たちは机の下に隠れて揺れが収まるのを待ち、校長先生の放送に従って校庭に避難しました。落ち着いて指示に従うことができたので、訓練の成果が出ていたと思います。



写真上 前後町長の挨拶で始まった第24回青年の主張猪苗代大会。発表後、「あの手、この手 の漢字の話」と題して福島県漢字同好会の八重樫一會長による記念講演が実施された

写真下 発表者の正面に陣取り、厳正な審査に取り組む審査員の皆さん



写真左 上から遠藤真桜さん(吾妻小6年)、笠間大夢さん(猪苗代小6年)、猪俣りおさん(翁島小6年)

電気ははげしく横にゆれ、棚にある本が落ちてきそうなぐらいだった。私はこの時、友達や母の顔が浮かんだ。体育館でスポーツをしている人もいたし、外で遊んでいる人もいた。家では、建物がぐずれて母が下じきになっっていないかと心配になった。このままみんなと離れ離れになってしまおうのではないかと、涙が出てきた。

(翁島小 猪俣りおさん)

災害時に大切なものは、何よりも先にまず自分の身を守ることで、つまり自助だ。

発表をした子どもたちは、今回の震災時に避難訓練どおりの行動をとっている。教室にいた子どもたちは、机の下に隠れた。玄関近くにいた子どもたちは、広い校庭に避難した。揺れが収まってからは、教室の机の下にいた子どもたちも教師の誘導に従い校庭に避難している。

町内の子どもたちにケガがなかったのは、非常時に備え、学校で実施している避難訓練の成果が発揮された結果だと言える。

さらに、実際に大震災にあったことにより、災害が起きた時に何をすべきかが明確になった。実際の災害時に、避難訓練で学んだことを100%出せる人はほとんどいない。命を守るた

めにはどうすればいいのか、これからも子どもたちと一緒に考えながら、繰り返し訓練に取り組んでいくことが重要だ。

**自分の命は守った。
次は友だちや周囲の人だ**

自分の命を守っただけでなく、仲間のために行動を始めた子どもたちもいた。

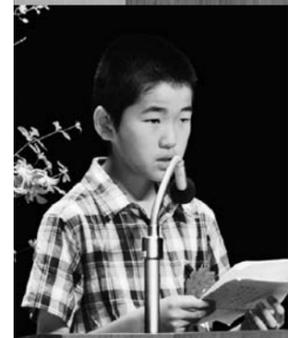
私のクラスの友達は全員いて、私は一安心すると、また涙が出てきた。涙はそれから全然止まらなかった。色々な人に「大丈夫か?」と心配された。私の他にも涙が止まらない人はたくさんいた。見かねた男の子達のグループが、ティッシュを一枚百円と言いながらみんなに配り、周りをなごませてくれた。普段はけんかばかりしている男の子達だが、この時はたのもしく感じた。

(翁島小 猪俣りおさん)

災害時に冷静さを保つのは、大人でも難しい。そんな中、彼らは周囲に気を配り、冗談で下級生たちを慰めた。その行動は地域の人や友人と協力し合い、助け合おうという共助に他ならない。子どもたちは、共助の大切さも知っていたのだ。



Endo Mao



Kasama Hiromu



Inomata Rio



Namba Saeka



Suzuki Satoe



Onoda Yukimi



Abe Mizuho



Jin Miyuka



Kobuna Kazutomo



Kato Saki



Osaka Tatsuhiro

Chapter 2

私たちは こう感じた

今まで経験したことのない事態に子どもたちが受けたショックは大きかった。彼らは感じていた。当たり前だと思っていた日常は、本当は当たり前ではなかったことを。そして、胸の中に新しい何かが生えていることを。

上段写真右から 大坂龍裕さん(長瀬小6年)、加藤咲希さん(緑小6年)、小鮎一友さん(千里小6年)、神未由華さん(吾妻中3年)、安部みずほさん(東中3年)、小野田幸実さん(猪苗代中3年)、鈴木聡恵さん(猪苗代高2年)、難波彩香さん(猪苗代高2年)

ぼ くは今まであたり前のように生きてきたことがあたり前でもなくなりました。毎日あたり前を感じたのです。毎日あたり前のように家族と過ごし、学校に行き友達や先生と会い生活をしてきたことが、今はそれがあたり前でもなくなっていました。(中略) 買い物に行ってもどんな食べ物か安全かを考えてしまふこともあります。毎年今頃だったらみんなとプールで泳ぐことを思い切り楽しむのに、今年は何だか違って心配しています。(千里小 小鮎一友さん)

大人よりも感受性が強い子どもたちが、この震災によって受けたショックは大きかった。彼らは何かが変わってしまつたと感じていた。子どもたちは気付いた。当たり前だと思っていた日常は、本当は当たり前ではなかったことに。そして思った。自分にできることは何だろうと。

鹿島小学校のみんなが「明るく元気になってほしい」「笑顔になってほしい」という願いができてきました。そう、鹿島小学校のみんなが笑顔になる。それが、私の提案した「スマイルプロジェクト」の名前の由来なのです。(緑小 加藤咲希さん)

スマイルプロジェクトで南相馬市の鹿島小学校に笑顔をプレゼント



緑小学校 6年 加藤 咲希さん

苦しんだり、困ったりしている時に、まず笑顔になれば元気が出る。それが復興にもつながっていくと思い、鹿島小学校にメッセージ付きのスマイル鉛筆を送ることにしました。それがスマイルプロジェクトです。自分たちのしていることが、鹿島小学校の皆さんの笑顔につながりました。先月、南相馬市に鉛筆を届けました。鹿島小の皆さんの笑顔が見れてうれしかったです。

家庭、地域と学校の連携が大切

東日本大震災の直後は、家の中が怖くて車の中にいました。すると、今にも泣き出しそうな顔で小さな子どもが1人、家の前を通りました。心配で声をかけると泣き出してしまったので、1時間くらい家で預かりました。その子は避難場所と教えられていた緑小学校を、目指していましたが、途中で不安になってしまつたようでした。子どもは教えられた通りに行動しましたが、そこに危険が伴う場合もある。今回の震災のような場合、大人でも危険かもしれません。家族が誰もいないような時に助けてくれるのは、地域の人が合えるのは、地域の私たちだと思います。我が家は義父が消防署員で、夫は消防団員です。災害時に男手は家にいません。自分たちで行動すること、地域の人と支え合うことが大切です。今回の災害では、早いうちに緑小学校に避難所が開設されたので、本当に助かりました。自分の子どもにも、家に誰もいなかった場合は、学校に避難するようにと教えました。家庭、地域と学校が連携して、子どもたちの命を守る。大人の命も守る。そんな関係作りが求められていると思います。

東日本大震災発生時、1人で行動していた子どもに気付き保護した



六角まゆみさん (金曲) Rokkaku Mayumi

避 難先の小学校で見た光景は、テレビで見ていた光景そのものでした。私は、自分に何かできることはないかと考え、毛布配りのボランティアを始めました。(猪苗代中 小野田幸実さん)

こ のボランティアの心は、支え合って生きている人間社会の中では、なくてはならないものだと思います。(猪苗代高 鈴木聡恵さん)

人 を傷つけるのも、立ち止まらせるのも人です。そしてまた、人の傷を癒すのも、背中を押してくれるのも、人なのです。つまり、人と人は、つながりあうことで生きているのです。(中略) 「人は、支えあって生きている」誰しも一度は耳にしたことがあるでしょう。私はこの大震災で、これは真実と気付かされました。(猪苗代高 難波彩香さん)

生 きているという事は、一人じゃないということ。忘れないで欲しい。そして、愛されているという事も決して忘れないでほしい。私は今という時をたくさんの人と共に生きている事を、とても幸せに思っている。(吾妻中 神未由華さん)

私 は今、とても幸せを感じています。勉強のできる環境にいられて、大好きな吹奏楽ができて、新しい学校で大切な大切な友達と出会えて、そして、家族みんなで一緒にいることができるからです。確かにこの震災で環境は大きく変わり、前の学校で叶えられるはずだったハーブ演奏の夢は崩れました。何をしても、「わからない」「どうしよう」の繰り返しでした。しかし、逆に震災がなければ、たくさんの人に支えられているという実感をもつことはなかったと思います。かけがえない大切な友達に出会うこともなかったでしょう。(猪苗代中 小野田幸実さん)

子どもたちはもう知っている。人が困っているときに助けてあげられるのは人であるということ。人は一人では生きられないということ。



子どもたちのこの笑顔こそ猪苗代の希望。この元気こそ猪苗代のエネルギーだ。
(猪苗代中学校サッカー部、野球部、バドミントン部、スキー部の皆さん)

Chapter 3 彼らとともに つくる未来

The future We're gonna make with youth.

震災のショックから立ち直るためにはこうすればいいと考えた。大切なものが何なのか、それも分かった。今こそ、子どもたちに学び一緒に協力していくべきだ。

新しい未来へ 復興への提言

震災後の今だからこそやらなければいけないことがある。今だからこそ考えられることがある。子どもたちからの未来への提言。

屋

根の上に設置する太陽光発電は最近猪苗代でも目にするようになりました。風力は強い西風が吹く会津にはぴったりだし、猪苗代の近くにもたくさん施設があります。

地

震さえなければ、みんなが悲しい思いをすることはなかった。でも地震がなかったら、新しい友達には出会えて

大切なものは夢、希望、家族、そして仲間

い

つしよに悲しむという小さな思いでも、ささやかな節電・募金でも、被災された方に思いを寄せている人が大ぜいいます。こういう時だからこそ、笑顔を大切にしていっしょにがんばっていきましょう。

(猪苗代小 笠間大夢さん)

(長瀬小 大坂龍裕さん)

一人一人が地球環境をとて、エネルギーや資源が限りあるものから限らないものになる日がいつか来ると思っています。また、そんな技術を生かして、失った自然をもとにもどして、地球に恩返しをしたいです。

Voice



新しい友だちからたくさんのことを学んだ

安部みずほさん(東中3年)

双葉中学校から転校してきた松本さんと菅野さん。吹奏楽をあきらめない二人の強さや明るさに、自分が元気をもらったほどでした。友だちと出会えたことは本当によかったと思いますが、震災のことを考えると複雑な気持ちです。転校してしまうのはさびしいですが、これからも連絡を取り合う大切な友だちです。

磐梯まつり音楽パレードで猪苗代吹奏楽団と共演、見事な演奏を披露

松本玲奈さん、菅野遼歌さん(共に3年)、星輝さん(2年)

演奏することができてうれしかったし楽しかったですが、転校するので3人が一緒に演奏するのは今回が最後になってしまいました。震災を憎んだ日もありましたが、東中学校の子たちとの出会いがあったことは良かったです。



右から松本さん、菅野さん、星さん

友

達がいる、学校に行けるという喜び。帰る場所があるというこのありがたさ。そして、家族と一緒にいられることが幸せで、その家族はとてとても温かい存在だということ。そう考えると、この震災は、よかったのか悪かったのかかわかりません。ですが、守られたこの命で私がやらなければならな

いことは、もう一度、あの奪われた夢や希望を取り戻し、前に進むということだと思えます。
(猪苗代中 小野田幸美さん)

子どもたちは、夢や希望を見つけ出し、前に向かって歩き始めています。きつとそれが生きていく上で大切なことだとわかってからだ。復興に向けては大人だけではなく、子どもたちも一緒に協力していくことが大切だ。

NHKの幼児向け教育番組「できるかな」に出演し、ノッポさんとして活躍した高見のつぼさんの有名な話がある。

のつぼさんは、子どもたちに敬意を込めて「小さい人」と呼ぶのつぼさんは、内面の基本的なところは、小さい人(子ども)も大きい人(大人)もたいして変わらないのだと言う。

「小さい人」という言葉は、外見的・物理的なことを言っているだけ。彼らは賢くていろいろなことを考えている。大人と同じなんだとのつぼさんは語る。今回の青年の主張を聞いた後、子どもたちの発表に込められていたのは、夢や希望を忘れてはいけない。人が困っているときに、助けてあげられるのも人なんだという、シンプルでスト

レートなメッセージ。大人が恥ずかしさや外間を気にして二の足を踏んでしまうようなことを、子どもたちは平気で口にし、行動に移してみせる。むしろ子どもたちのほうが優れているのではないかと思えるほどだ。

子どもたちが大人よりも早く笑顔に戻れるのは、学校があるからだ。子どもたちが大人よりも早く元気を取り戻せるのは友だちがいるからだ。子どもたちの一番の財産、それは仲間。

大人はつらいことや苦しいことを我慢をする。泣きたくても嘘の笑みをうかべる。でも、泣きたいときには泣けばいい。それを受け入れ、支え、励ましてくれる仲間はいらる。一緒に泣ける仲間がいると、立ち直ることも前を向くこともできる。感情を閉じ込めて、我慢をするから前に進めなくなるのだ。

私たちが忘れていたことを、子どもたちが思い出させてくれた。今こそ子どもたちから学ぶべきだ。仲間とともに笑顔で暮らすことが復興への近道だと、彼らの笑顔が教えてくれている。「Smile (スマイル)こそ猪苗代Style (スタイル)」

大人も子どもと一緒に、笑顔で復興への道を歩んでいこう。
特集 子どもたちの3・11 終

第63回 磐梯まつり



01_ 火の祭典のたいまつ行列には約500人が参加。赤い炎が町内を埋め尽くした
 02_ 各地区のお囃子の違いを聞き比べるのも山車巡行の楽しみの一つ
 03_ 読経と焼香で犠牲者の冥福を祈った噴火殉難者供養祭
 04_ ステージイベントのハンバーガー早食い競争。ここにもなでこフィーバーが
 05_ 町内小学校の児童などが参加した音楽パレード。わが子の演奏を一目見ようと、沿道には大勢の父兄らが訪れた(写真は緑小学校の生徒ら)
 06.07_ まつりのフィナーレを飾った会津磐梯山総おどり。約600人が参加して中央商店街を流し踊った。
 08_ たいまつ行列の後、広場でファイアーパフォーマンスを実施した「不知火人」。圧巻のパフォーマンスに、観客はくぎ付けとなった。
 09_ 新町四区、千代田祭礼実行委員会や本町五区の山車が町内を練り歩いた山車の巡行
 10_ おまつり広場で啓発活動を実施した人権擁護委員。



今年で63回目となる磐梯まつりは、7月30、31の両日、旧役場跡地・おまつり広場をメイン会場に開催された。
 30日にはオープニングセレモニー、太鼓の競演や山車巡行などが実施され、おまつり広場に多くの観客を集めた。火の祭典では、磐梯神社からの御神火を移したたいまつ行列が中央商店街を練り歩き、町内を炎で赤く染め上げた。
 31日には音楽パレード、アマチュアバンドのステージや会津磐梯山総おどりなどが開催された。おまつり広場や中央商店街には、子どもたちの頑張る姿を見ようと、大勢の観客が訪れた。祭りの様子などを写真で紹介する。



02



01



05

01_操作開始から放水まではわずか50数秒 2_2人で素早く吸管を伸ばす2、3番員 03_筒先員交代は小型ポンプ操作の見せ場の一つ 04_4番員から管鑰を受け取る2番員 05_ポンプ車に勢いよくホースをつなぐ2番員 06_「第2線延長始め」の号令で走り出す2、3番員



04



03



06

県消防協会猪苗代支部 消防操法大会

Fire Fighting Spirits 2011



二十三年度県消防協会猪苗代支部消防操法大会は七月十日、猪苗代小学校グラウンドで開催されました。

大会には町内の六消防団と磐梯町の四消防団の合わせて十消防団が出場。消防ポンプ操作の正確性や放水までのスピードなどを競い合いました。

この結果、ポンプ車操作の部では猪苗代町消防団第五分団が、小型ポンプ操作の部では猪苗代町消防団第一分団が優勝しました。大会の様子を写真で紹介いたします。

成績は次の通りです。

- 「ポンプ車操作の部」
- ①第五分団②磐梯町消防団第一分団③第二分団
 - 最優秀選手 ▼指揮者 石井史人(第六分団) ▼一番員 佐瀬暁(第五分団) ▼二番員 五十嵐史朗(同) ▼三番員 野口義紀(第三分団) ▼四番員 半澤義之(第五分団)
- 「小型ポンプ操作の部」
- ①第一分団②第六分団③第五分団
 - 最優秀選手 ▼指揮者 渥美慎司(第六分団) ▼一番員 鈴木一功(磐梯町消防団第二分団) ▼二番員 鈴木信一(同) ▼三番員 磯谷貴彦(第一分団)



小型ポンプの部で優勝した第1分団の選手(写真右)とポンプ車操作の部で優勝した第5分団の選手(写真左)

統計調査員として 瑞宝単光章を受章

Profile とだ・よしあき

昭和12年都沢生まれ、35年から各種統計調査員を務め、多種多様な調査の内容を熟知し、誠実な対応と正確な調査で町統計調査の発展に寄与した。その手腕は統計調査員だけにとどまらず、猪苗代町商工会理事、川桁地区役員などとしても20年近く活躍した。

●主な受賞歴 平成13年 国勢調査功労者として総務大臣表彰、同年 統計調査功労者として福島県知事表彰 など



前後町長に受賞を報告した戸田さん(右)

温厚で誠実、統計調査の重要性を理解した責任感のある取り組みで地域住民の信頼が厚い戸田儀秋さん(73) 川桁。秋の叙勲で瑞宝単光章を受章した。

「受賞を大変うれしく、光栄に思います。これも皆さんの協力のおかげ」と話す。

昭和35年国勢調査調査員に就任。以来現在まで50年以上にわたり迅速かつ正確な調査で統計調査の発展に努めた。この間事業所・企業統計調査、農林業センサス、工業統計、商業統計などの調査員を兼任、現在に至る。「統計調査員になったばかりのころは、留守の家なんてほとんどなかった。近年は留守宅も多く、何度も足を運ぶことも珍しくない」と話す戸田さん。

「住民のプライバシーに留意して行動するように心がけている。相手の身になって接することが大切だ」と話した。

「元氣なうちは協力を続けたい。これからも精進していく」と笑顔を見せた。

瑞宝
単光章
戸田
儀秋さん
よしあき

受章おめでとうございます

瑞宝
単光章

佐藤

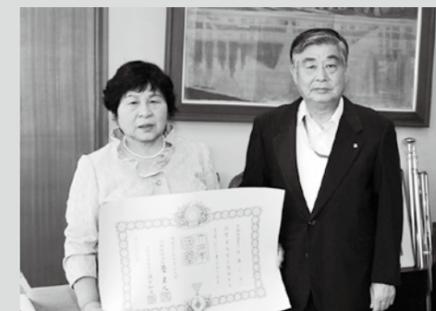
三三ちゃん

民生児童委員として 瑞宝単光章を受章

Profile さとう・みよ

昭和12年中町生まれ、52年から現在まで民生児童委員を務め、地域住民の福祉の向上に貢献。平成7年から町民生児童委員協議会副会長、19年からは同協議会会長を務める。卓越した手腕は猪苗代にとどまらず、県民生児童委員協議会評議員も務める。

●主な受賞歴 平成19年 社会福祉功労者として福島県知事表彰、同年 社会福祉功労者として厚生労働大臣特別表彰 など



受賞報告で町役場を訪れた佐藤さん(左)

温厚な性格と高い人格見識を持ち、ボランティア精神に富み地域住民の信頼が厚い佐藤三三ちゃん(74) 神明町。秋の叙勲で瑞宝単光章を受章した。

「無我夢中で頑張ってきた。地域の皆さんのおかげでここまで務められた」と喜びを語る。

昭和52年に民生・児童委員として委嘱を受けて以来、30年以上にわたり住民福祉の向上に貢献するとともに、町のさまざまな団体役職を歴任し、住民の生活の安定、向上に尽力した。

「昔は生活保護関係の仕事が多かったが、社会環境の変化に伴い、不登校や老人福祉など社会問題も変化してきた。それに対応するため、ずっと勉強を続けました」と当時を振り返る。

昨年の大雪や東日本大震災の時も、一人暮らしの家を安否確認して回った。職務に対する責任感のみじんも衰えていない。

「地域の人のため、残された任期を全うします」と佐藤さんはやさしく微笑んだ。

Elementary school



写真上 5、6年生の真剣勝負「横綱引き」。チームワークや駆け引きなど、いろいろな要素が求められる種目です
写真下 シンプルですが盛り上がる徒競走。みんな1等賞を目指して頑張ります

カメリーナに児童の声響く

東日本大震災で校舎の一部に被害を受け、開催が延期されていた長瀬小学校の運動会は7月18日、カメリーナで開かれました。

「出会い 絆 そして未来へ」をスローガンに、児童ら134人が26種目に挑み、「きょうのヒーローは きみだ!」、ダンス「マル・マル・モリ・モリ!」、5・6年生による借り物競走「ミッション・インポッシブル」や「紅白対抗リレー」などで熱戦を繰り広げました。また、親子競技や児童と保護者らによる地区対抗リレーなども実施され、児童や観客席からは大きな声援が送られました。

双葉町から本町に避難し、長瀬小学校に転校した児童もたくさんいます。児童の一人は「運動会とかいろいろなことは、もうできないかもしれないと思っていた。でも今日は運動会ができて楽しい」と感想を述べました。

Nursery school



写真上 「みぎー」「ひだりー」友だちの声援でやっとスイカの前にたどり着き、力を込めて振りおろす
写真下 スイカ割りが終わりと待ちかねの時間。冷えたスイカは何個でも食べられそう

園児らがスイカ割りに挑戦

川桁保育所のスイカ割りは7月26日、同保育所で催され、園児たちが自分の体ほどもある大きなスイカに挑みました。

先生からスイカ割りの説明を受けた園児たちは、友だちには大きな声で「まっすぐー」「みぎー」と声援を送り、自分の順番がくると、目隠しをして3秒ほど先にあるスイカを目指しました。

スタスタと前に進みさっと棒を振り下ろしてしまう子、一歩一歩ゆっくりと慎重に進んでいく子やなんと目隠しをずらしてのぞこうとする子など、それぞれが個性を發揮しながらスイカ割りを楽しんでいました。

スイカ割りが終わり、切り分けられたスイカが登場すると、園児たちは「おいしい」「冷たい」と話しながら、太陽よりもまぶしい笑顔でスイカにかぶりつきました。

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO

野球部員がプロの技術学ぶ

四国アイランドリーグ plus で活躍する高知ファイティングドッグスの野球教室は7月26日、町運動公園球場で開催されました。

この教室は中学、高校時代を県内で過ごした同球団の山本大輔マネージャーと日大東北高校野球部出身の同級生らが中心となり、東日本大震災の復興支援に取り組む同球団とともに開催を決めたもので、県内ではいわき市と本町で実施されました。

当日は監督や選手ら25人が来町し、猪苗代、東吾妻の町内3中学校と磐梯中、湖南中の野球部員ら合計69人に打撃や守備などの技術を指導しました。

山本マネージャーは「猪苗代で避難生活を送り、野球ができない子どももいると聞いた。夢をあきらめず、一緒に頑張る気持ちを伝えたい。球団の活動を通じて、高知と福島との交流を深めるとともに、継続的な支援を続けていく」と話しました。



写真上 真剣な表情で指導を受ける5校の生徒ら
写真下 指導を受ける東中1年の渡部匠舞さん。「足の動きや体重の乗せ方を習い、参考になった。打球も飛ぶようになりました」と話しました。



写真上 志田浜の清掃をする生徒ら。志田浜に来るまでの道路でも大量のごみを拾ったという
写真下 天神浜の清掃を担当した渡辺麻美さん(左)と小野田莉奈さん(右)

古里の宝、猪苗代湖を守れ

東中学校の1年生32人は7月12日、志田浜と天神浜で湖畔の清掃活動に取り組みました。この活動は、奉仕作業を通して周りの人や周辺環境について考える機会を作る総合学習の一環として実施されたものです。生徒たちは、ボランティア活動の意義や猪苗代湖の実態などについて事前学習し、理解を深めて当日を迎えました。

当日は志田浜18人と天神浜14人の2グループに分かれて清掃を開始。志田浜を清掃するグループの班長を務めた渡部萌絵香さんは「たばこの吸殻、花火や空き缶などがたくさんあってびっくりした。砂の中に隠してあるものもあり、隠してでも捨てようというその気持ちが悲しかった。私たちの古里をゴミで汚さないでほしい。猪苗代湖がきれいになって、また観光客がたくさん来てくれるようになればうれしい」と感想を述べました。

Junior high school

Junior high school



運動不足の解消と歴史散策

ノルディックウォーキング体験会



コースの途中で土津神社を訪れた参加者ら

猪苗代青年会議所の主催によるノルディックウォーキング体験会は7月23日、カメリーナをスタートし町内の土津神社などをめぐりコースで開催されました。この体験会は、町内に避難している人たちに運動不足を解消してもらいながら、本町の歴史に触れてもらおうと同会議所が企画したもので、浪江町、双葉町や飯館村などから約50人が参加しました。

浪江町出身の鶴巻マツ子さん(66)は「ポールがあったので、すごく楽に歩けた。保科正之公のことなど、あまり知らなかった猪苗代の歴史に触れられてよかった」と感想を述べました。

応急手当の大切さなど学ぶ

婦人消防連絡協議会が研修会実施



心臓の仕組みなどについて説明する大竹係長

町婦人消防連絡協議会(土屋紀伊子会長)の研修会は7月22日、学びいなどで開かれ、同会の会員ら約30人が出席しました。

土屋会長のあいさつの後、猪苗代消防署の大竹一嘉係長が「救急救命と防災について」と題して講演。心臓の働きやAED(自動体外式除細動器)の仕組み、救命手当ての必要性や心肺蘇生法の手順などについて説明を受けました。

質疑では、震災時にどう行動したら良いかなどに話が及び、大竹係長が「まずは落ち着いてテーブルの下に隠れるなど、身の安全を確保する事が第一」とアドバイスを送りました。

お気に入りは見つかった?

猪苗代に「おもちゃ図書館」が開館



寄贈されたおもちゃは子どもたちに大人気

子育てサロン日向ぼっこによる出張ひろば「おもちゃ図書館」は7月6日、町児童館で開かれました。このイベントは、被災地の子育て支援のため、ふくしま子育て支援ネットワーク事務局が企画したもの。東京のおもちゃ図書館などから来たボランティアの皆さんが、いろいろなおもちゃを会場中にひろげ、保護者や子どもたち約50人と一緒に遊びました。

保護者らは「手作りおもちゃや最新のおもちゃなどに触れることができ楽しかった」と感想を述べました。おもちゃは同サロンに寄贈され、今日も子どもたちを楽しませています。

田澤義雄さんが満100歳に

ケアテル猪苗代で知事賀寿を贈呈



前後町長から賀寿を贈呈される田澤さん

7月10日に満100歳の誕生日を迎えた田澤義雄さん(北高野)への知事賀寿贈呈式は同日、介護老人保健施設ケアテル猪苗代で挙行されました。

山口靖明会津保健福祉事務所長が、知事賀寿と記念品の会津漆器の木杯を贈呈。続いて前後町長と戸田忠義町老人クラブ連合会会長が賀寿と記念品を手渡しました。

「若い頃一生懸命働いた人なので、体が丈夫。病院や施設で丁寧にもてらっているのが長寿につながっている」と息子の憲さんは感謝の言葉を述べました。

民話を聞いて元気を出そう

第10回いなわしろ民話祭りを開催



猪苗代に伝わる民話に聞き入る観客ら

いなわしろ民話の会主催の第10回いなわしろ民話祭りは7月18日、学びいなどで開催されました。

「一元気な猪苗代 元気な福島— 東日本大震災からの復興をめざして」と銘打ったことしの民話祭りでは、民話を聞いて元気になろうを合言葉に、楽しい話、昔の暮らしの話や妖怪の話などを会員の皆さんが面白おかしく語りました。

特別ゲストとして会津万歳伝承者の樋口充さんと樋口弘一さんも出演、会津万歳や民謡などを披露し、約200人が詰めかけた会場を沸かせました。

シーズン中の無事故を祈願

5浜合同浜開きと安全祈願祭実施



シーズン中の無事故と来客を祈願する関係者ら

猪苗代湖5浜の合同浜開きと安全祈願祭は7月15日、長浜で開催されました。祈願祭には、町内の商工観光業者、警察や消防関係者など約20人が出席。玉ぐしをささげて今シーズンの無事故を祈願しました。式典後には、長浜観光協会の秦久尚協会会長が「風評を克服し、復興に向けて歩みたい。福島を支援すると思って遊びに来ていただければ」とあいさつをしました。

県の放射性物質調査の結果「健康に影響はない」とされた猪苗代湖。湖水浴場は例年通り8月31日まで開放します。各浜の放射線量測定値については、町ホームページをご覧ください。

きづく つなぐ まもる

日本の自殺の現状

9月10日は世界自殺予防デーです。それにちなみ、9月10日～16日は自殺予防週間を設定されています。自殺予防が大きく叫ばれている背景には、年間3万人を超える自殺者数が挙げられます。

警視庁の調査によれば22年の自殺者の中で、身体的・精神的な病気などの健康問題が原因だと推定される人は、半数以上に上ります。その中で、うつ病が原因とされる人は44・4%もいます。うつ病とは一体どんな病気なのでしょう。

うつ病とは

感情、意欲や思考などは、脳の神経細胞の働きで生まれ、神経伝達物質によって調節されていますが、うつ病になるとその調節がうまくいかなくなり、うつ病は、脳の神経機能に異常が起き

た状態と言えます。うつ状態(何事にも興味味がわかない、食欲が無い、自分が生きていくことが迷惑だと感じるなど)あるいは躁状態(多動・多弁になる、何でもしたくなる興奮状態など)どちらかになる人もいれば、うつと躁を交互に繰り返す人もいます。また、睡眠障害、倦怠感、下痢や便秘などの身体症状を引き起こすこともあります。

うつ病の発症には、個人の性格だけでなく、その人を取り巻く環境も大きく関係しています。職場や家庭内での人間関係が悪い、仕事で能力以上のことを求められる、借金や病気に悩んでいるなどは要注意です。

ストレスを解消しようとしても気が晴れない、解消しようとする元気が来ない、問題が整理できないなど、心の不調に気が付いたら、早めに受診することが重要です。

自殺の危険を示すサイン

うつ病の症状が最も悪化している時は、自殺する気力すらない状態であると言われています。注意が必要なのは、症状が悪化していく時と治りかけの時期です。

自殺をしようとする人は、悩みを解決できない、自分の無力さを感じ、辛い気持ちに耐えかねて死を選ぶ心理状態に陥るのです。

そういう人は「死にたい」思いを直接口にしながら、その兆しともいえるサインを出しています。性格が急に変わる、身なりに構わなくなる、自殺の手段(薬、包丁、紐)を用意する、大切なものを整理するなど、これまでと何か違う、ちょっとした変化を見逃さないことが大切です。

もしサインに気づいたら

きづく つなぐ まもる

り、身近な人に死にたい気持ち打ち明けられたいら、まずは自分が冷静になつてください。死にたいと思っている人は、生きていけないという気持ちと、助けてほしい、生きたいという両方の気持ちの間を揺れ動いていきます。しかし、同時に冷静さを失っているため、放っておくと気持ちのままに行動しかねません。馬鹿なことを考えるなど叱る、どうせ死ぬはずがないと無視する、なんとなんと気休めを言うなどは、避けてください。言葉に耳を傾け、辛さを分かち合い、心配しているということを伝え、自殺以外の解決方法がないかを話し合うことが重要です。

自殺をしない約束をして時間をかせぐことは、冷静さを取り戻してもらうことにもつながります。そしてその場の対応だけでなく、病院や他の家族にすぐに連絡をとって助

けを求め、必要な支援に結び付けることも大切です。

町では、心の不調に気付いた人と相談し、それぞれに合った支援を考えていく場として、「このころの健康相談」を年4回開催しています。竹田総合病院の精神保健福祉士と町の保健師が相談に乗ります。

今後は9月8日(木)、12月8日(木)、3月8日(木)に開催します。申し込みには事前予約が必要ですが、ぜひ気軽に問い合わせてください。

一人で悩みを抱えずに、私たちと一緒に話をしてみませんか？

▼相談・問い合わせ先
保健福祉課
☎(62)2115

▼県内のこころの健康についての相談窓口
○会津保健福祉事務所
☎(29)5275
○精神保健福祉センター
☎024(535)3556



お父さん、お母さんと一緒に笑顔の若奈ちゃん

「病気をせず、元気な子に育てほしい」とお父さん。「料理上手な女の子に育て、お手伝いもしてほしい」とはお母さん。二人は笑顔で若奈ちゃんを見つめます。

笠間 若奈 ちゃん

平成22年7月生まれ
～堤崎
真一さん・和歌子さん夫婦の長女

ハイハイと伝い歩きで家中を移動する元気いっぱいの子若奈ちゃん。その様子は、今にも走り出しそうなほどです。

そんな若奈ちゃんの最近のお気に入りには、音の出るおもちゃ。音楽に合わせて一緒に踊って楽しんでいきます。お父さんとお風呂に入っても、今日は何で遊ぼうかとおもちゃを探し始めます。

動物が大好きで、どんな生き物でも触りたがるという積極的な性格の若奈ちゃん。人見知りもせず、誰にでもニコニコと笑顔を見せます。

お父さんとお母さんが仕事の間は、大好きなおじいちゃんやおばあちゃんとお遊びます。二人とのお散歩は若奈ちゃんの日課。今日もベビーカーに乗って、お目当ての動物を探します。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

サークル紹介 特別編

Circle introduction Special

今回のサークル紹介は、特別編として7月25日に学びの場を開かれた藍染ハンカチづくり講座を紹介いたします。

「浪江町出身の江川アイさんが避難先の北塩原村で藍染の展示会を開いた」新聞の記事を読んだ猪苗代地区婦人会のメンバーが、猪苗代でも教室を開いてほしいと依頼したのがきっかけで、今回の講座が実現しました。

参加者らは、色を染める前のハンカチに豆を入れたり、複雑に折りたたんだりして模様を作るなど、工夫をしながら楽しんで作業に取り組みました。江川さんは「皆さんに楽しんでもらえてうれしい。今後も藍染でいろいろな人に元気を与えたい」と話しました。

※このコーナーでは、活動をPRしたい団体を募集します。希望する団体は広報担当まで問い合わせてください。
☎(62)2111

藍染ハンカチを作ろう！

(講師：江川アイさん)



(写真左)当日は約30人が参加。受講者の皆さんは完成を楽しみしながら、思い思いの材料を使って模様をつけていました
(写真右)これからも自分にできることを続けていくと話す江川さん

受講者の皆さんは、出来上がった作品を手で大満足の様子



生涯学習課からのお知らせ

■町図書室が学びいなで再オープン

老朽化した町ふるさと歴史館の改築に伴い休館していた図書室が、新たな図書システム(WebOPAC含む)を導入し、便利で使いやすくなった図書室として学びいな内に再オープンしました。

新システムの導入に伴い、利用者登録が必要となります。今まで登録していた人も改めて登録が必要です。詳しい利用方法については、利用者登録のときに窓口で説明します。

○場所：学びいな 展示ホール

○開館時間：午前9時～午後7時 ※勉強や閲覧スペースは常時9席ご用意しています。満席の場合は空いている研修室を開放して、できる限りのスペースを確保しますが、全館貸切りのイベントなどがある場合は確保できない場合もありますのでご了承ください。

○休館日：学びいなの休館日と同日(年末年始と毎月のメンテナンス休館日)8月22日、9月4日、26日、10月2日、24日、11月20日、28日、12月4日、26日、12月28日～翌年1月4日

※窓口での貸出しや返却に加え、蔵書検索機能があるパソコンを設置して、今までよりスピーディーに図書の検索ができるようになりました。また、貸出しランキング表示機能により、今人気の本が一目でわかるようになりました。

※読みたい本が図書室にあるのか？貸出し中になっていないか？新図書システムでは、インターネットを利用して、自宅にいながら本の貸出し状況を見ることができるようになりました。また、貸出中の本を予約することも可能です。

■第31回町民大運動会を開催します

毎年恒例の町民大運動会を今年も開催します。町内に住んでいる人ならどなたでも参加できます。皆さんの参加をお待ちしています。※種目により参加できないものもありますので、ご了承ください。

昨年は猪苗代地区の優勝で幕を閉じましたが、今年はこの地区が優勝の栄冠を手に入れるのでしょうか。

○日時：9月4日(日) 午前9時開会式(小雨決行)

中止の場合は午前7時に防災無線で連絡します。

○場所：町運動公園陸上競技場

運動のできる服装でお越しください。



写真は昨年の町民大運動会の様子。長縄跳び「とびますとびます」に挑戦する猪苗代地区の皆さん

■町民球技大会地区大会が開幕

猪苗代・吾妻地区の町民球技大会地区大会は7月24日、各地区で開催されました。男子はソフトボール、女子はバレーボールで熱戦が繰り広げられ、それぞれ上位2チームは、9月11日(日)に開催される中央大会への出場権を獲得しました。結果は以下のとおりです。

【猪苗代地区】

○ソフトボール 優勝・新北町 準優勝・名古屋町

○バレーボール 優勝・本町 準優勝・半坂

【吾妻地区】

○ソフトボール 優勝・小田 準優勝・樋ノ口A

○バレーボール 優勝・樋ノ口 準優勝・小田

そのほかの地区大会は下記の日程で開催されます。地域一丸となって、優勝目指して頑張りましょう。

8月7日(日) 翁島地区 町運動公園・町総合体育館
月輪地区 東中学校校庭・川桁体育館

8月21日(日) 千里地区 町運動公園・町総合体育館
長瀬地区 東中学校校庭・川桁体育館

■東北楽天イーグルス猪苗代球場誕生

町運動公園球場A面(野球場)に、【東北楽天イーグルス猪苗代球場】という愛称がつけました。愛称をつけることで、町には次のようなメリットがあります。

○株式会社楽天や球団が、地域貢献や青少年の健全育成を目的として開催しているプロ野球教室「野球塾」が毎年開催されることが約束され、町の少年野球のレベルアップを図ることができます。

○野球塾以外にも楽天イーグルス関係者の講演会などを開催できるようになります。

○スポーツ振興宣言の町としての本町のイメージが定着し、それを契機とした賑わいのあるまちづくりが期待できます。

※右は球場のロゴマーク



■青少年が熱い思いを主張

第24回青少年の主張猪苗代町大会は7月23日、学びいなホールで開かれました。今年は「自然環境やエネルギーに関すること」「手伝いやボランティアに関すること」「友だちや家族の大切さに関すること」の3つのテーマから選択し、発表する形式で実施されました。

厳正なる審査の結果、各部門の最優秀賞は、小学生部門・加藤咲希さん(緑小)、中学生部門・小野田幸実さん(猪中)、高校生部門・難波彩香さん(猪高)がそれぞれ受賞しました。また、最も優れた発表者に授与される塩川正十郎賞は、中学生部門最優秀賞の小野田さんに送られました。

猪苗代町体験交流協会からのお知らせ

■USAF BAND jazz&pops LIVE

2011 Japan Tour in INAWASHIRO

アメリカ空軍太平洋音楽隊が東北、福島の方々を元気づけにアラスカから来日します。隊員全員が音楽大学などの出身で、軍の厳しいオーディションをパスしたプロのミュージシャンです。本場のダイナミックで迫力満点の演奏をぜひお聴きください。

○日時：8月30日(火)

開場 午後6時 開演 午後6時30分

○会場：学びいなホール

○料金：2,000円(全席自由)

○出演・演奏：アメリカ空軍太平洋音楽隊-アジア-

○主催：猪苗代町体験交流協会

○問い合わせ：体験交流協会事務局長・中村

☎(66)3586

■花柳流みほの会チャリティー舞踊会

東日本大震災復興支援を目的とした、花柳流みほ乃会チャリティー舞踊会が開催されます。今回は詩吟神聖流聖涼支部との共同開催で、舞踊をはじめ、詩吟、民謡と盛りだくさんの内容で開催します。

○日時：8月28日(日)

開演 10時

○会場：学びいなホール

○入場料：1,500円

※チケットは学びいなで販売しています。

○主催：花柳流みほ乃会

○共催：詩吟神聖流聖涼支部



※写真は表現豊かな花柳流の舞踊

■チャリティー寄席 長瀬亭二人会

町の二人の落語語り者、長瀬亭清孝(鈴木清孝さん)と長瀬亭英世(渡部英世さん)の初高座。町ゆかりの人情噺や地震噺などの創作落語を披露します。また、喜多方市在住のギタリスト、福田正二郎さんのゲスト出演もあります。

○日時：8月20日(土) 開演 午後5時30分

○会場：学びいなホール

○料金：前売券500円(中学生以下は無料、当日券は1,000円となります)

※チケットは学びいなで販売しています。

○主催：映画猪塾

○問い合わせ：映画猪塾・五十嵐 ☎080(6728)5511

■五.七.五.と七.七.を詠む

一連歌師・猪苗代兼載の心に触れる一

五.七.五.を詠む俳句が小学校でも正規の教科に入りました。私たちの日常生活にも五.七.五.のリズムを取り入れて、心を豊かにしてみませんか。

○日時：8月28日(日)、9月24日(土)、

10月22日(土)、11月12日(土)の全4回。

いずれも午後1時30分から2時間

○会場：学びいな 研修室

○受講料：無料(但し、教材代、資料代として500円)

○講師：田中雅子先生
連句協会会員、葵高校講師

○申し込み：福島地域研究所
小松山六郎 ☎090(7930)0901

もしくは学びいなまで



教育委員会コラム

第十六回

生物学上の人類は、20種類ほどいたとされている。その人類が次第に淘汰され、我々の祖先にあたる現生人類(ホモサピエンス)が最後に生き残ったのは、今から10〜20万年前ほど前だと言われている。

現生人類誕生までの長い道のりには、幾つかのターニングポイントがあった。

最初の大きな分岐点は「食べ物」である。草食か肉食かで、まず肉食派が草食派を淘汰した。そして次の分岐点は「言葉」の使用であった。団体行動の際、言葉を使うことでより複雑な意思の疎通や相互連絡などが可能になり、作業効率が倍化した。そして言葉を使用するホモサピエンスとネアンデルタール人が最後のステージまで生き残ったのだ。ネアンデルタール人が最終段階で敗れ去った原因は、音韻学という母音の数が少なく、複雑な表現でホモサピエンスに及ばなかったせいとされている。

動物は、百獣の王ライオンといえども単独では生きられず、群れて生きている。まとまって行動することで知恵を結集し、仲間を増やして大きく発展してきたのだ。

東日本大震災以来、全国的にボランティアの輪が広がっている。みんなで協力し合い、危機を乗り越えようとする私たちの行動には、ホモサピエンスのDNAが作用しているのかもしれない。猪苗代にも、学校給食用として千葉県八街市からスイカ、玉ネギ、ニンジン、ジャガイモやゴボウなどの見事な野菜を大量に頂いた。(土屋)

税金

国税の振替納付日を一時延長します

今回の東日本大震災により、国税の申告・納付などの期限が延長されたことに伴い、22年分の申告所得税確定申告分、個人事業者の消費税確定申告分の振替納付日が延長されています。

延長後の振替納付日は決まり次第お知らせします。

▼問い合わせ先
会津若松税務署
☎(27) 4311

個人事業税の定期課税延期について

県内で事業を営んでいる人を対象にした個人事業税は、通常8月31日(第1期分)までと11月30日(第2期分)までの2回に分けて納付することになっています。

しかし、今年度の課税分については、東日本大震災に伴う納期限の延長措置などにより、納税通知書の発付を延期しています。具体的な課税の時期は、確定次第、広報誌などお知らせします。

保健

特定疾患医療受給者証の更新を延長

特定疾患治療研究事業の認定を受けている人は、毎年7月に更新申請の手続きをすることになっていますが、東日本大震災後の県内の状況を踏まえ、有効期限を1年延長することになりました。新しい特定疾患医療受給者証は、県から直接受給者の皆さんに郵送される予定です。

▼対象になる人
有効期限が23年9月30日までの、福島県の受給者証を持つている人

▼新しい受給者証の有効期間
10月1日から24年9月30日まで

新しく送付された受給者証の内容に変更や追加などがある場合は、会津保健福祉事務所へ手続きをしてください。
そのほか不明な点は会津保健福祉事務所(会津保健所)に問

い合わせてください。
▼問い合わせ先
会津保健福祉事務所(会津保健所)健康増進課
☎(29) 55008

子宮頸がん予防接種の再開について

ワクチン不足により、接種を希望する対象者でも制限を受けていた子宮頸がんの予防接種ですが、7月20日から希望するすべての対象者が接種できるようになりました。

※対象者：中学1年から高校1年相当年齢の女性
本町では、対象者の接種に約9割の費用助成を実施しています。接種1回につき、1500円で接種を受けることができます。子宮頸がんワクチンは、3回接種しないと効果が十分に期待できないと言われてい

ます。副反応、アレルギー反応やそのほか医師の判断などにより接種を継続できない場合以外は、途中で接種を中断しないよう注意してください。

高校1年生相当年齢の人は、費用助成の期間が残り少なくなっています(24年3月末まで)。接種を希望する人は、夏休み中に1回目の接種を受けてください。助成期間以外の接

相談

高齢者や障害者の人権を守るために

9月5日(月)から11日(日)までの7日間は、全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化週間です。身体的・心理的虐待、差別やいやがらせなど高齢者や障害者の抱える人権問題について、電話相談を実施します。相談には人権擁護委員と法務局職員が応じます。

▼時間 午前8時30分から午後7時まで(ただし10日・11日は午前10時から午後5時まで)
▼相談電話
☎0570(003)110

▼問い合わせ先
福島地方法務局人権擁護課
☎024(534)1994

期間中は、町でも人権擁護委員と行政相談委員の合同相談会を開催します。相談は無料で秘密は厳守しますので、気軽に相

役所や特殊法人への苦情を受けます

国、県、市町村などの役所やN.T.Tなどの特殊法人の仕事について、苦情、意見や要望を受けるのが行政相談会です。

▼町行政相談委員
宮沢 重正さん(下館)
☎(66) 3995

▼開催日時
8月17日(水)、9月21日(水)
午後1時から午後3時まで
▼会場 町役場3階 日本間
▼問い合わせ先
総務課 秘書広報業務
☎(62) 2111

掲示板

告示

・第59号「現金取扱員領収印の告示」
(上下水道課水道管理業務)

詳しくは会津地方振興局農税部まで問い合わせてください。
▼問い合わせ先
会津地方振興局農税部
☎(29) 5251

特定疾患医療受給者証の更新を延長

特定疾患治療研究事業の認定を受けている人は、毎年7月に更新申請の手続きをすることになっていますが、東日本大震災後の県内の状況を踏まえ、有効期限を1年延長することになりました。新しい特定疾患医療受給者証は、県から直接受給者の皆さんに郵送される予定です。

▼対象になる人
有効期限が23年9月30日までの、福島県の受給者証を持つている人

▼新しい受給者証の有効期間
10月1日から24年9月30日まで

新しく送付された受給者証の内容に変更や追加などがある場合は、会津保健福祉事務所へ手続きをしてください。
そのほか不明な点は会津保健福祉事務所(会津保健所)に問

・第60号「指定地域密着型サービス事業所・指定地域密着型介護予防サービス事業所の指定」(保健福祉課高齢者福祉業務)
・第61号「国民健康保険被保険者証無効告示」(町民生活課国保年金業務)
・第62号「充当通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
・第63号「延滞金督促状の公示送達について」(税務課収納業務)
・第64号「議会定例会招集(23年6月)」(総務課行政管理局業務)
・第65号「不動産等の最高価申込者決定通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
・第66号「配当計算書の公示送達について」(税務課収納業務)
・第67号「充当通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
・第68号「公売通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
・第69号「交付要求書の公示送達について」(税務課収納業務)
・第70号「差押書の公示送達について」(税務課収納業務)
・第71号「国民健康保険被保険者証無効告示」(町民生活課国保年金業務)
・第72号「差押書の公示送達について」(税務課収納業務)
・第73号「猪苗代町営牧場に係る放牧期間の告示」(農林課農林業務)

公告

・第74号「債権差押書の公示送達について」(税務課収納業務)
・第19号「職員採用候補者試験の実施について」(総務課行政管理局業務)
・第20号「インターネット公売による不動産の最高価申込者決定について(第1号)」(税務課収納業務)
・第21号「農用地利用集積計画

について」(農業委員会農地業務)
・第22号「インターネット公売の公告について(第2号)」(税務課収納業務)
・第23号「情報公開の実施状況の公表」(総務課秘書広報業務)
※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧ください。それぞれを担当課にお問い合わせください。

お盆期間中の町内医療機関の診察日をお知らせします

浅見クリニック	8月12日は午前中診療 13日から16日は休診 17日から診療を開始
小川医院	8月12日は休診、13日は1日診療 14日から16日は休診 17日から診療を開始
かねこクリニック	8月12日は午後4時まで診療 13日から16日は休診 17日から診療を開始
野崎医院	8月12日から15日まで休診 16日から診療を開始
マリアクリニック	8月12日は1日診療 13日から16日は休診 17日から診療を開始
矢吹医院	8月12日は1日診療 13日午後から16日は休診 17日から診療を開始
六角医院	8月12日は1日診療 13日から16日は休診 17日から診療を開始
町立猪苗代病院	8月12日は1日診療 13日から16日は休診 17日から診療を開始

- 会津若松市休日緊急医割当(8月14日)
- 小児科 いたう子どもクリニック(門田町黒岩宇大坪180) ☎(27) 4601
- 内科系 加藤内科小児科医院(川原町1-13) ☎(27) 2732
- 外科系 あみウィメンズクリニック(八角町4-21) ☎(37) 1456
- 会津若松市夜間急病センター(山鹿町1-22) ☎(28) 1199
受付時間 18:30~22:30(年中無休)

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況 (平成23年6月30日現在)

1 犯罪発生状況

町村別	年別	平成23年	平成22年	増減	増減率%
猪苗代町		39	50	-11	-22.0
磐梯町		8	13	-5	-38.5
裏磐梯		5	6	-1	-16.7
計		52	69	-17	-24.6

罪種別	町村別		猪苗代町		磐梯町		裏磐梯	
	23年	22年	23年	22年	23年	22年	23年	22年
窃盗犯計	33	40	8	10	5	6		
空き巣		2						
金庫破り								
事務所荒らし								
出店荒らし	3		1					
倉庫荒らし		1						
侵入盗その他	2	2	1		1	1		
置き引き				1				
車上ねらい	2	1	1		1	1		
部品ねらい	1							
脱衣場ねらい	2	3						
自販機ねらい		1						
万引き	11	9						
職場ねらい		2						
さい銭盗		1						
畑荒らし								
スキー・スノーボード盗	7	4	2	7	1	2		
非侵入盗その他	1	11	3	1	2	2		
自動車盗		1						
オートバイ盗								
自転車盗	4	2		1				
その他の乗り物盗								
暴行・傷害		1		1				
詐欺・横領	3	2						
遺失物等横領		1						
器物損壊	1	4		1				
その他の刑法犯	2	2		1				
総計	39	50	8	13	5	6		
増減		-11		-5		-1		

◎6月には、万引きや出店荒しが発生しています。
◎夏休み時期における少年の非行防止および犯罪被害防止月間です。

2 交通事故状況

死亡事故	0	0	0	0	0	0
増減	0	0	0	0	0	0
人身事故	39	52	4	10	1	4
増減	-13	-6		-3		

◎子どもやお年寄りの歩行者を見かけたら、減速して安全確認をするようにしましょう。
◎夜間の運転は、原則ライトを上向きにする習慣を身に付け、早めに歩行者を発見できるようにしましょう。

募集

「平和を仕事に」防衛省が自衛官を募集します

防衛省では、次のとおり自衛官を募集します。

●募集種目

【一般曹候補生】

部隊勤務を通じて、陸・海・空自衛官を養成します。

【自衛官候補生】

採用後所要の教育を経て、3カ月後に2等陸・海・空士の任期制自衛官に任官します。任期後も希望者は選考により継続任用されます。

●資格 採用予定月の1日現在、18歳以上27歳未満の人

●募集期間 8月1日(月)から9月9日(金)まで

●一次試験

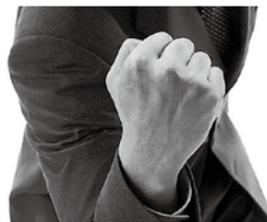
【一般曹候補生】9月17日(土)

【自衛官候補生】男子は受付時にお知らせします。女子は9月25日(日)～28日(水)のいずれか

※志願書類の請求、試験内容や会場など、詳しくは下記に問い合わせてください。

◎自衛隊福島地方協力本部

会津若松出張所 ☎(27) 6724



お知らせ

猪苗代高校の同窓生に同窓会総会のお知らせ

県立猪苗代高等学校同窓会総会を下記の日程で開催します。同窓生の皆さんの出席をお待ちしています。詳しくは下記まで問い合わせください。

●日時 9月16日(金)

午後5時30分

●場所 若喜食堂(終了後、懇親会)

●会費 4,000円

◎猪苗代高校内 同窓会事務局

☎(62) 3125

地上デジタル放送への切り替え期限が延長に

岩手県、宮城県と本県の地上デジタル放送への切り替えは、24年3月31日まで延長されました。地上デジタル放送を受信するための準備をお急ぎください。

下記の期間、デジサポ福島地デジアドバイザーが、町内を巡回訪問します。地デジについての質問や困りごとなどがありましたら、車に向かって手を上げ、車を止めて気軽に相談してください。

●巡回日程

8月22日(月)～8月31日(水)
※土・日曜日を除く

●内容 訪問相談、簡易調査や各種申請の手続きなどの質問や相談に、デジサポカーで地域を巡回しながら

お答えします。

●問い合わせ デジサポ福島

☎024(505)1010

平日 午前9時～午後9時

土日祝 午前9時～午後6時

◎デジサポ福島

☎024(505)1010

9月から会津バス運行路線が磐梯東都バスに

会津バス猪苗代営業所と会津タクシー猪苗代営業所が8月31日(水)で閉鎖することになりました。

現在会津バスが運行している町内バス路線は、磐梯東都バス(株)が引き続き運行します。ダイヤ、停留所や経路などは、基本的に変更ありません。

ただし、会津バスが発行した定期券や回数券は磐梯東都バスでは利用できませんので、会津バスで清算してください。

高速バスについては、引き続き猪苗代駅前で乗降できますが、チケット販売はしませんので、若松駅前バスターミナルまたはインターネットで購入してください。

詳しくは下記まで問い合わせください。

◎定期券、回数券、高速バスなど

会津バス本社 ☎(22) 5560

猪苗代営業所 ☎(62) 2231

●9月1日以降の運行について

磐梯東都バス ☎(72) 0511

原発事故の影響などについての講演会を開催

福島県栄養士会会津支部では、原発事故の現状把握と日常生活の留意点などについての講演会「チェルノブイリからふくしまへ」を下記の日程で開催します。

詳しくは下記まで問い合わせください。

●日時 8月28日(日)

午前10時30分～正午

●場所 コミュニティ施設ピカリンホール(会津若松市北会津町)

●講師 NPO法人 日本チェルノブイリ連帯基金 神谷さだ子氏

●入場料 無料

●申し込み 8/28講演会参加希望と記入し、FAX 0241(45)2229 物永葉子あてに申し込んでください。

◎(社)福島県栄養士会会津支部

☎(39) 7872

9月9日は救急の日！救急講演会を開きます

今、目の前で家族が突然倒れたら、あなたは何かができますか？救急車が到着するまで、大切な人の命をつなぎとめるのは「あなた」の応急手当です。救急の日にちなみ、下記のとおり「救急講演会」が開催されます。聴講は無料です。どなたでも気軽に参加してください。

●日時 9月9日(金) 午後3時

●場所 会津若松ワシントンホテル

●講師 日本医科大学付属病院

主任教授 横田 裕行氏

◎猪苗代消防署 ☎(62) 4433

8・9月の献血日程

8月19日(金)

午前9時30分から

午前11時30分まで

●猪苗代警察署

午後1時から午後5時まで

●リオンドール猪苗代店

9月2日(金)

午前9時00分から

午後5時00分まで

●猪苗代町役場



猪苗代町乗合タクシー ☎(62) 3335

プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
消息欄は削除しました。ご了承ください。

※広報に氏名の掲載を希望されない場合は、窓口に申し出てください。

善意をありがとう

◎社会福祉事業協力金として
町内の匿名の人から

10,000円

町の人口

23年7月1日現在の現住人口

人口 15,807人

世帯数 4,962戸

出生 3人 転入 50人

死亡 16人 転出 4人

●町県民税 第3期分

●国民健康保険税

第2期分

●介護保険料 第2期分

●後期高齢者医療保険料

第1期分

●上下水道使用料 8月分

●下水道負担金 第2期分

お詫びと訂正

▼広報7月号(No.609)の記事中に誤りがありました。16ページ スクールピックス「6小学校に農業教材を寄付」の記事中「中村輝さん」とあるのは「中村輝さん」の誤りです。深くお詫びして訂正します。

編集後記

▼先月号の表紙を見た人から、花嫁の着物が左前になっているとの指摘がありました。あの写真は鏡の中の花嫁姿を写したもので、左右が反転しています。誤解された皆さん、ご安心ください。町内の美容師さんたちの腕は確かです。▼磐梯まつりに町商工会青年部と猪苗代高の生徒が協力して出店していた。先月のおシンさんの嫁入りも主役は猪苗代高の嫁入り地元の猪苗代高生がいろいろイベントに参加して頑張ってくれているのを頼もしく思う。(大坂)

みんなの美術館

8月は長瀬小学校のお友達の作品です

Our Museum



写真左 閉じた状態
写真下 開いた状態



「みんなでえんそく」

クラスのお友だちと遠足に
行ったところを描きました。
みんな一緒に楽しそうに
しているところが気に入っ
ています。大きな紙に19人
みんな描きたかったです。



瀧口 ^{はな}蓮己さん(1年)



渡部 ^{ひろき}大輝さん(6年)

書道「友情」

友ははらいの部分に、情は
細かい青の部分に気をつけ
て書きました。りっしんべ
んをもう少し上手に書けれ
ば100点満点でした。次
はもっとうまく書けます。



食生活改善推進員コーナー

～旬の野菜でカンタン料理～

No. 171

ミルクスイカ寒天 (骨粗しょう症予防メニュー)



【材料】4人分

スイカ 250g^㉜・牛乳 250^㉝・粉寒天 4^㉞・ミカンの
缶詰 1缶

【作り方】

- ① スイカは1^㉟角に切ります。ミカンの缶詰は、ミ
カンとシロップに分けておきます。
- ② 牛乳、ミカンのシロップ(250^㉝)と粉寒天を入
れた鍋を火にかけ、かき混ぜながら煮溶かします。
- ③ 沸騰したら、ふきこぼれない程度の火にして1～
2分間沸騰を続けます。
- ④ ①のスイカを入れたゼリー型に②を流し入れ、冷
蔵庫で冷やし固めます。
- ⑤ ④を皿に盛り、スイカとミカンを添えたら出来上
がり。

【一人当たりの栄養量】 エネルギー 123^㊱、タンパ
ク質 2.9^㊲、脂質 2.6^㊳、カルシウム 77^㊴、炭水化
物 23.1^㊵、食物繊維 0.4^㊶、塩分 0.1^㊷

■一口メモ■

カルシウムが豊富な牛乳と旬のスイカを使った簡単おやつです。